

相談分科会勉強会について（案）

1 現状

障害者相談支援は、本人のニーズに寄り添い、地域生活への意向や安定した生活に向け、様々な情報提供をはじめ、自己決定に必要な提案、助言、支援を行うという極めて重要な役割を担っている。

そこには、制度・サービスありきではなく、利用者のニーズや望む暮らしを実現するために、地域の社会資源を活用し支援計画を作成・実行するとともに、地域のネットワークや社会資源の改善・開発にむけたまちづくりに努めるといった役目も担っている。

その課題を解決するために、2ヵ月に1回相談支援専門員が集まって情報交換や研修を実施している。

また、平成29年8月からは、久留米市地域生活支援協議会のなかの相談分科会としての位置づけで活動し、事務局会議を開催して相談支援における課題を整理し今後の研修等の企画を行っている。

くるめ相談ネットでは、これまで相談支援専門員の質の向上と情報交換等で久留米市の相談支援のネットワークを構築してきた。しかし、個々の相談支援専門員の感性や力量、事業所の経営基盤等に頼るところも多く、財源・人員体制の脆弱さを背景に、結果として相談員のバーンアウトや、セルフプランの減少率の低さといった現状があった。

また、コロナ禍による行動面の自粛も伴い、相談事業所間でのネットワークも徐々に希薄になっていった。

これらを解消するために令和4年度は、相談支援専門員の顔の見える関係性づくりを図る事、地域課題の抽出と共有を行うことで相談支援専門員の知識・技術・価値の向上を行うこと、ひいてはそれらが当事者の生活の質の向上につなげていくことに主眼を置き、外部講師を招いての研修等を適時実施した。

<外部講師による研修実績（令和3年8月～令和4年7月）>

① 令和5年1月19日 実施

講義「諸外国の意思決定支援と我が国の取り組み」

講師：弁護士

講義「相談支援専門員の意思決定支援の実践」

講師：ベストサポート(株)

② 令和5年3月16日 実施

講義「福岡県医療的ケア児コーディネーターの取り組み」

講師：福岡県医療的ケア児支援センター

③ 令和5年7月13日 実施

講義「障害者権利条約における総括所見について」

講師：久留米大学

2 成果と課題

くるめ相談ネットでは会員に向けてアンケートを実施したなかで、相談ネットへ参加す

る目的としては、「ネットワークづくり・情報交換」「専門性のための研修機能」「社会資源の情報収集」というところが多く、専門家からのスーパーバイズを希望している人が多かったことから、外部講師を招いての研修会を企画し、講師謝金と交通費を計上した。

行った研修の内容に関しては随時会員へのアンケート調査を実施。多くの意見が寄せられたが、「大変参考になった」との意見が多く、特に権利擁護関連（意思決定支援）については、深く興味を持たれている印象だった。

今後の研修の希望として、災害対策やLGBTQなど多様な内容が挙がっている。

様々な視点を個々のケース対応に反映できるよう、ひいては地域課題の抽出につなげていけるよう、年間を通しての入念な研修計画の策定が今後にも必要になると思われる。

3 目的

- (1) 障害児・者に対する支援基盤の整備として相談支援専門員同士の情報交換及び相談支援専門員の資質の向上を図る。
- (2) 学習等を深めていくことで、それまで対応することなどがなかったケース等も引き受けられるよう相談支援専門員のキャパシティの拡充を狙う。
- (3) 相談支援専門員それぞれが持つ事例等を通して地域に潜んでいる課題等を抽出するとともに制度の整備を検討する。
- (4) 事業所運営のための必須研修に対応できる研修の検討

4 基本方針

サービス等利用計画作成につながる取り組みの一環として、本年度も引き続き相談支援専門員のニーズに沿ったテーマでの研修会を以下のとおり実施し、相談支援専門員のスキルアップを図っていく。

【来年度の研修内容】

- ① 意見交換会
- ② 障害種別に応じた事例検討会
- ③ 権利擁護研修
- ④ 勉強会・・・多様性・LGBTQ等
- ⑤ 地域課題・・・個別課題の吸い上げ・災害対策等
- ⑥ 事業所運営に関する意見交換・・・事務処理・BCP策定等

5 内容 <令和5年度>

- (1) 外部講師による研修

次年度の相談ネット外部講師予定

| 内容 | 講師 | 謝金 | 交通費 |
|------------------------|----|---------|--------|
| 上記記載の研修内容から、事務局会議で協議する | 未定 | 21,000円 | 3,000円 |
| | 未定 | 21,000円 | 3,000円 |
| | 未定 | 21,000円 | 3,000円 |

① 概算見積もり

講師謝金：1名90分 ¥21,000×3回=¥63,000

交通費：実費（往復 ¥3,000 で計上した場合） ¥3,000×3回=¥9,000

計 72,000 円

② 講師費用の参考単価（福岡県社会福祉士会）

●大学講師基準（90分）

¥21,000（教授）

¥18,000（准教授）

¥15,000以下（講師以下）

●専門講師基準

¥21,000（医師、弁護士など）

¥18,000（社会保険労務士、人材育成コーディネーターなど）

¥15,000（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士など）

●社会福祉施設・社協等講師基準

¥15,000（施設長、社協事務局長）

¥12,000（指導監督職員、施設管理主任など）

¥12,000以下（栄養士、調理師、社協職員など）

6 期待される効果

- (1) 研修を通じた学びによって、個々のスキルアップや計画の策定における相談支援専門員の質の向上。
- (2) これまで対応したことの無い事例等について議論を重ねることによる、相談支援専門員のキャパシティの拡充。
- (3) 地域に潜んでいる課題について議論を重ねることによる、必要に応じた施策への提言や、当事者の生活ニーズの充足。

7 スケジュール

- ・企画内容を確認しつつ、講師や詳細な内容については、事務局会議で調整していく。